

# TiGRAN 左右兼用枠 下荷重片引き戸施工説明書 (固定タイプ)

A800769

## ご使用上の注意

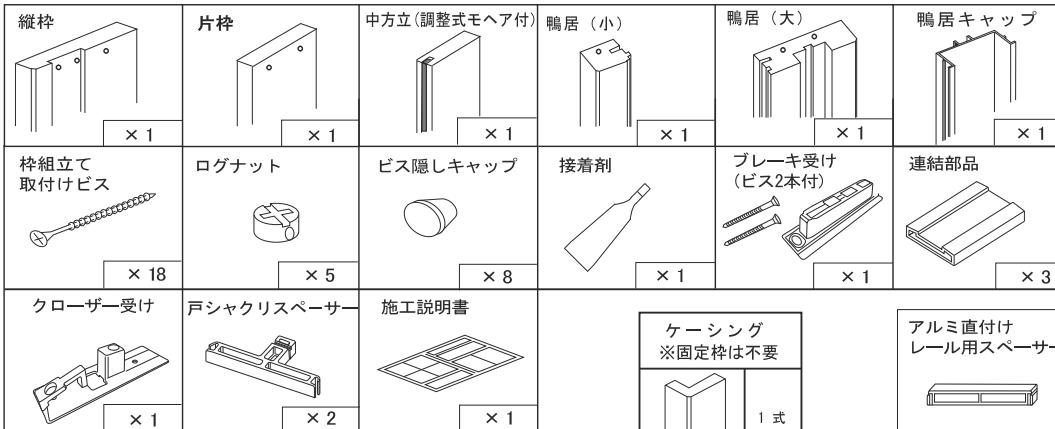
- 施工される人への危害を未然に防止するためと、ご使用になる人や他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、この説明書をよくお読み下さい。
- △ 暖房器具などから発生する熱風、熱気が直接当らないようにして下さい。  
扉の反り、変色などの原因になります。
  - 扉に粘着テープでポスターなどを貼らないで下さい。表面が傷む恐れがあります。
  - 製品に水、油、殺虫剤などを付着しないようにして下さい。  
材質の特性により表面がくすりたり、染み、変色などを発生する恐れがあります。
  - △ 扉の開閉にいたっては、必ず手元を持って操作して下さい。  
手元から手を離したり、扉の先端に手を置くと、扉が急に閉まつたとき、扉と枠の間に指を挟み、思わぬ怪我をする恐れがあります。特にお子様にはご注意下さい。
  - 安全のため、破損・変形した扉は、使用しないで下さい。
  - △ 鴨居には、絶対にぶら下がったり、ハンガー等、荷重のかかる物を吊り下げたりしないようお願いいたします。鴨居の破損、又は思わぬ怪けの原因となる恐れがあります。
- 施工上の注意
- ① 造作材・建具枠の下地材には、必ず乾燥材(含水率10%以下)を使用し、湿潤材(グリーン材)は使用しないで下さい。壁内の過溝が悪く、内部結露が発生する恐れがある場合は、防水処理をしてから施工して下さい。
  - 枠の組立後、ねじれ・引っ張りなど無理な力を加えないで下さい。破損する原因になります。
  - △ 造作材・建具枠と柱・間柱・まくらとの間に必ず隙間を作り、かい木を入れて下さい。かい木には、合板等の乾燥材を使用しないで下さい。湿潤材は使用しないで下さい。木枠をコンクリートやモルタル(床面)に直付けしないで下さい。やむを得ず直付けする場合は、造作材・建具枠木口と床面の間に必ず防水処理をして下さい。
  - 養生シートをかぶせる場合は、粘着テープ等を化粧面に貼らないで下さい。剥がす際に表面が損傷する恐れがあります。
  - 発熱燈付近には取り付けないで下さい。熱により、部品が変形する恐れがあります。
- マークの見方
- |  |  |
|--|--|
|  | この表示の欄は「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害、損害の程度です。」  |
|  | この表示の欄は「してはいけない禁止」内容です。  |
|  | 得意意様へのお願い<br>弊社では、お客様が製品を安全に正しくご使用頂くための<br>お願い事項やお手入れ方法などの重要な内容をこの施工説明書に記載しております。<br>施工後は、必ずお客様に手渡して頂きます様お願いします。 |

## はじめに

※荷物が到着いたしましたら、直ちにキズの有無を確認してください。運送中に発生したキズ等がございましたら、運送業者から事故証明をとり、商品に添えて仕入先へお申し出ください。

※製造上の問題があれば、施工前に仕入先へお申し出ください。『施工後は当社では責任を負いかねます。』

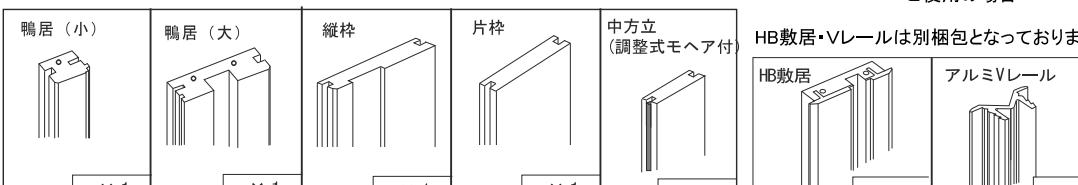
## 梱包内容の確認 (組立て前に必ずご確認下さい)



### ●ケーシングをご使用の場合

### ●別売

アルミ直付けレールをご使用の場合



## 左右兼用枠の仕様説明

当社の鴨居は左右兼用の為、ジョイント式になっております。  
鴨居(小)を鴨居(大)の左か右にジョイントすることによって左右を決めることができます。

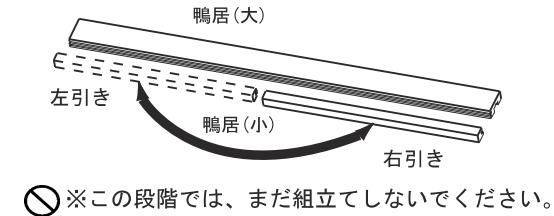
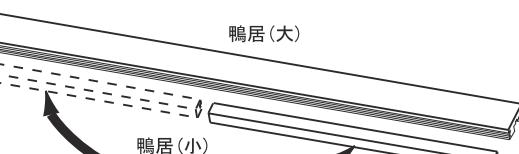


鴨居(小)を鴨居(大)の左右に取付けることにより、左引き、右引きとなります。  
手順①の図①を参考に施工してください。

### 1 鴨居の組立て

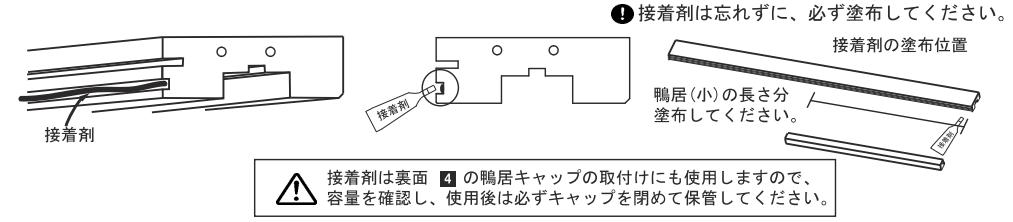
1. 左右を確認し、下図のように鴨居(大)と鴨居(小)を連結部品を使用して組立てます。

#### ① 下図①を参考に左右を確認してください。

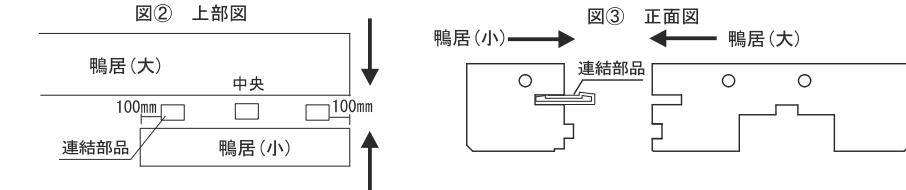


※この段階では、まだ組立てしないでください。

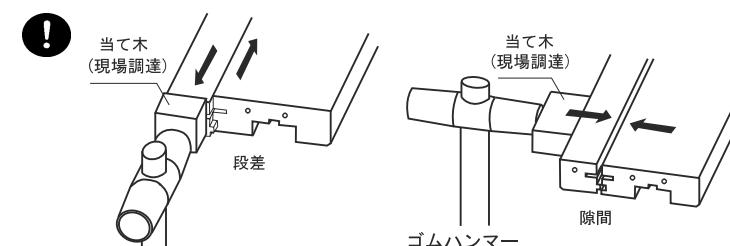
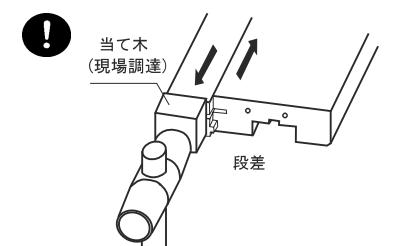
2. 接着剤を鴨居(大)のジョイント部、下図の位置へ鴨居(小)の長さ分、塗布してください。



3. 連結部品3個を鴨居(小)の図②③の位置、3か所に差し込み、鴨居(大)とジョイントし組立てしてください。



組立ての際、図のようにジョイント部分に隙間や段差が出来ないよう組立ててください。  
隙間や段差が出来てしましましたら、鴨居が破損しないよう、必ず当て木を当て、ゴムハンマー等で叩き、面一に調整してください。



## ■施工手順

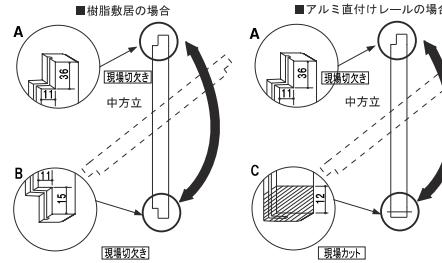
**2** 下図に従い固定用ビスで固定し、フレームを作ります。  
※中方立取付の際は必ず通穴をあけてから同梱のビスで固定してください。

1. 中方立てからモヘアを500mm程度引き出し、  
HB敷居の場合は11mmアルミ直付けレールの場合は48mm切り落とします。



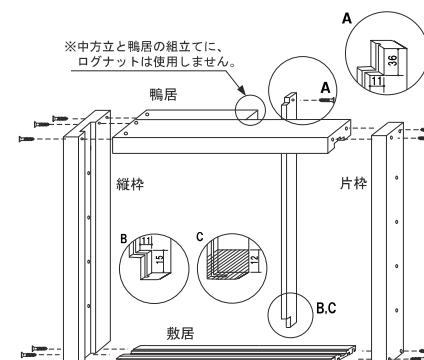
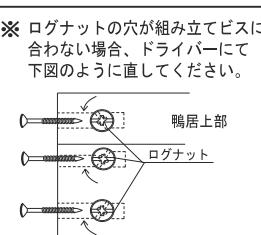
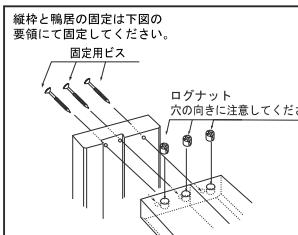
2. 枠は左右兼用になっていますので下図のように反転し、  
現場で左右勝手を確認し決めて下さい。  
ハイブリッド敷居、アルミ直付けレールの納まりにより、下図を  
参照し、中方立の上部と下部をカットしてご使用下さい。

！中方立を切り欠く際はモヘアと一緒に切ってしまわない様に注意してください。



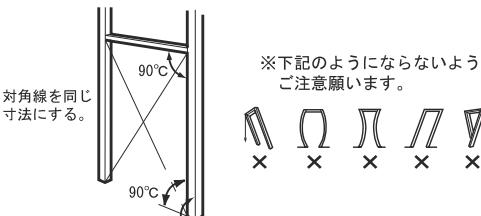
3. 下図に従い組立ビスで固定し、フレームを作ります。

※鴨居の控え壁部分は現場に合わせ、加工願います。  
※中方立取付の際は必ず通穴をあけてから、同梱の  
枠組立てビスで固定してください。



## 3 枠の取付け

枠を固定前に必ず枠内寸法の確認をしてください。  
枠の取付の際は、水平、垂直を出し内寸法の狂い、  
ねじれの無いように施工してください。

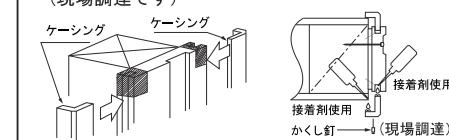


△ 鴨居には、絶対にぶら下がったり、ハンガー等、荷重のかかる物を吊り下げたりしないようお願いいたします。  
※注意 鴨居の破損、又は思わぬケガの原因となる恐れがあります。

枠組立てビスで軸体に固定し、  
ビス隠しキャップをはめ込みます。



ケーシングご使用の場合  
ケーシングを下図に従い取り付けてください。  
※ケーシングの取り付けについては、  
木工用ボンドと釘釘を併用してください。  
(現場調達)

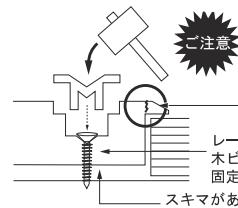


## HB製敷居施工上のお願い

12mm厚フロアとの納まり  
15mm厚フロアとの納まり

12mmフロアの場合は  
厚紙等を敷いてください。  
【現場調達】

15mmフロアの場合は  
カットベニアを敷いてください。  
【現場調達】



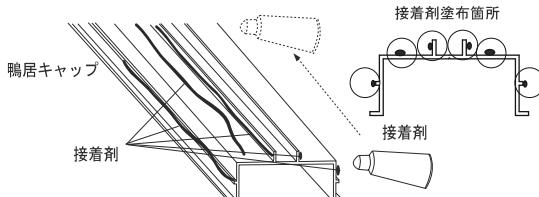
●調整用の厚紙、カットベニア等を敷かずに、  
レールの叩き込みを行うと、O印の部分が  
破損するおそれがあります。

## 4 鴨居キャップの取付け

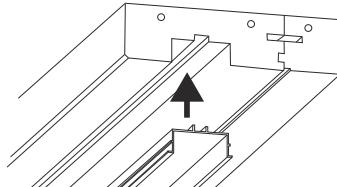
鴨居キャップに付属の接着剤を塗布し鴨居にはめ込みます。

接着剤を塗布する所はウエスなどでゴミ、ホコリをきれいに  
拭き取りをしてから接着剤を塗布します。

下図のように、鴨居キャップの外側に接着剤を塗布してください。



！ 接着後、養生が必要です。

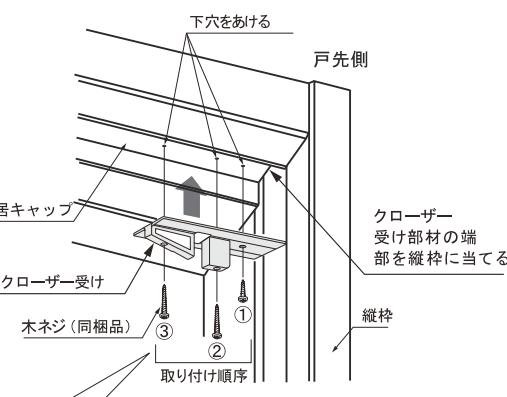


！ 接着剤を5~10分乾燥させてから鴨居と鴨居キャップを  
張り合わせ強く圧着して下さい。

○ 鴨居キャップ取付の際、ハンマー等は使用しないでください。  
鴨居キャップの割れ、破損の原因になります。

## 5 クローザー、ブレーキ受けの取付け

クローザー受け部材の端部を縦枠に当てる、  
鴨居キャップに下穴を開けて、  
木ネジ(同梱品)を①～③の順で取付けてください。



●受け部材の端(①)の固定には、他(②③)  
より短い( $l = 14\text{mm}$ )木ネジをご使用  
ください。

注  
①の固定に $l = 22\text{mm}$ の木ネジを使用すると、縦枠と鴨居の固定ね  
じに干渉します。

### 注意事項

- 電動ドライバーは、使用しないでください。部材の変形、作動不良の原因になります。
- 引戸本体をはめ込んだ後、ゆっくりと動かして、ソフトクローズ機構が正常に作動するかご確認ください。
- クローザー受けの取付位置は、必ず引戸の納まりを確認してから取り付けてください。
- 商品のシリーズによって、1.5秒間に對応していないものがありますので、ご了承ください。
- ソフトクローズ機構に潤滑剤、防錆剤、洗剤等を塗布しないでください。動作不良の原因になります。
- クローザー受け部材は消耗品です。破損した場合は交換してください。

### △ 注意

ブレーキ受けの取付ける向きを間違えないよう  
注意してください。間違えて取付けるとブレーキ

機能が正常に作動しません。

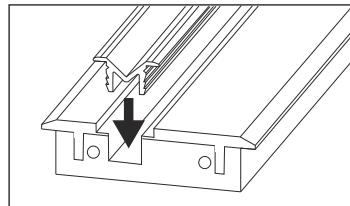
引戸の開閉範囲について…

クローザー受け部材の取付位置により、引戸の開閉範囲が  
決まりますので取付ける際は、必ず確認してください。

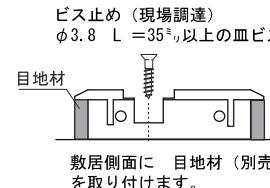
## 6

## アルミVレールの取付け

敷居にアルミVレールをはめ込みます。

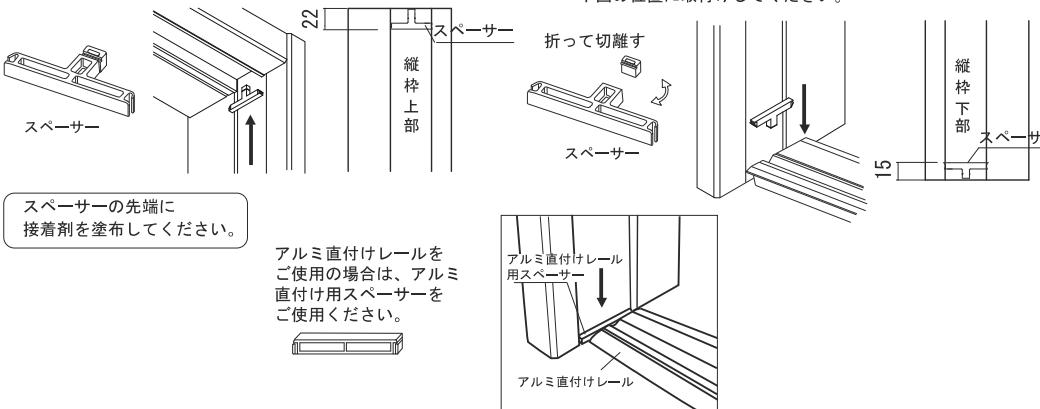


## 据置施工の場合



## 7 スペーサーの取付け

スペーサー先端に接着剤を塗布し縦枠上部、下図の位置に取付けしてください。

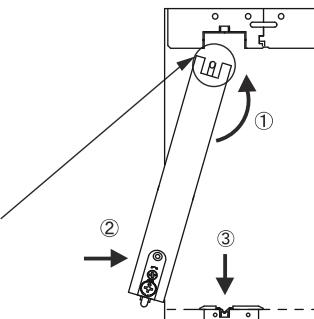
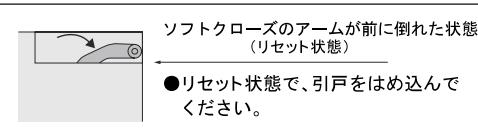


## 8 扉の吊り込み

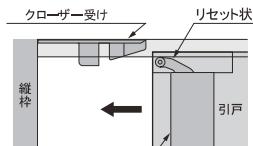
扉上部を鴨居へ納め、下戸車を敷居Vレールへはめてください。

扉を吊り込んだらスムーズに開閉するか確認してください。

## 引き戸吊り込み時の注意事項

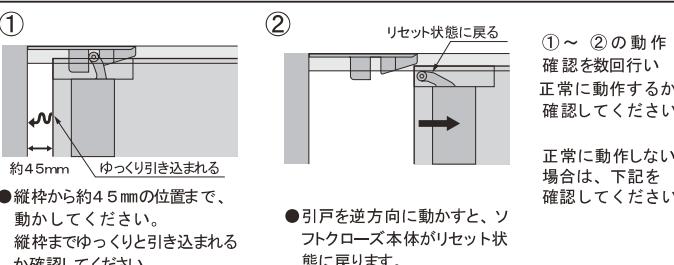


## ■引戸本体をはめ込む際の注意事項



●ソフトクローズ本体をリセット状態にして、引戸をはめ込んでください。

## ■ソフトクローズ機構の動作確認



## ソフトクローズ機能をスムーズに作動させる為の確認事項

確認① アームが前に倒れた状態になっていますか？

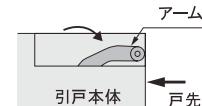
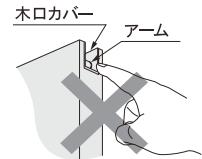
戸先側から見てソフトクローズのアームが、下図のようにリセットされた状態になっているか、確認してください。

確認② 引戸本体の高さ調整は、正しいですか？

■引戸本体とクローザー受けの位置関係。引戸本体側の木口切欠き部分の中心位置と、クローザー受け下面を基準に戸車を上下調整して高さを合わせてください。

木口カバー内のアームには、触れないでください。

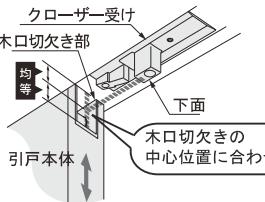
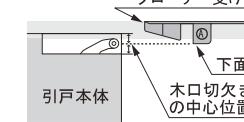
アームに触ると、リセット解除状態になりソフトクローズが機能しなくなりますので触れないでください。



リセット状態とは、アームが前に倒れた状態です。

■リセット状態にならない時

引戸本体を枠から一旦取り外し、リセット状態にし、再度、吊り込みしてください。

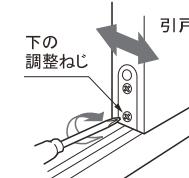


※引戸本体を外して、リセット状態にしてください。  
(確認①を参照)

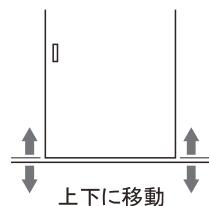
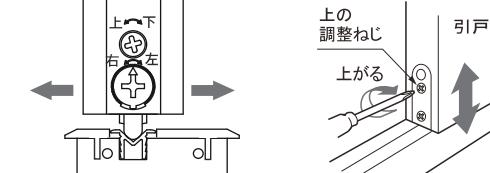
## 9 扉の調整・戸車の調整（上下、左右）

電動ドライバーは使用しないでください。

## ■[前後調整]の方法



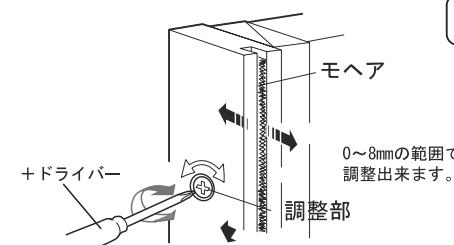
## ■[高さ調整]の方法



## 10 中方立モヘアの調整



注意 モヘアの調整には、+ドライバーをご使用いただき、電動工具は使用しないでください。

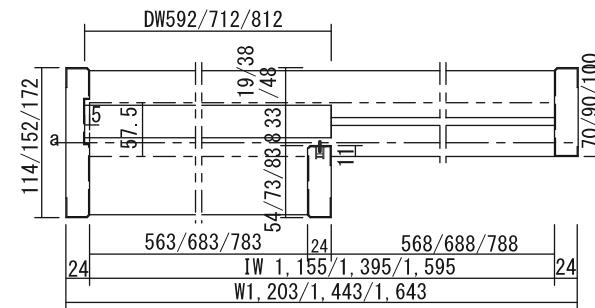
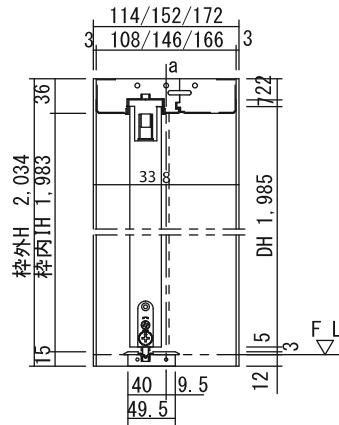


扉がモヘアと強く当たる、または扉とモヘアの間から明かりがもれる場合、調整モヘアを下図のように調整してください。  
(扉本体とモヘア先端は1~2mm程度隙間をあける。)

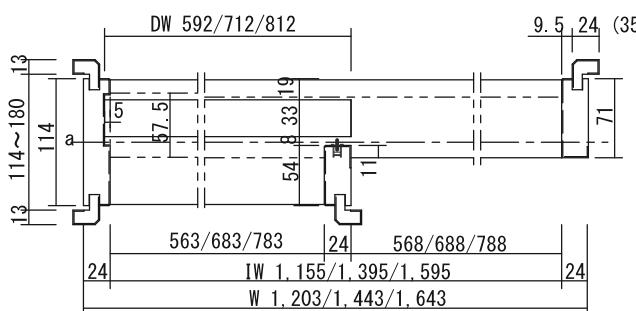
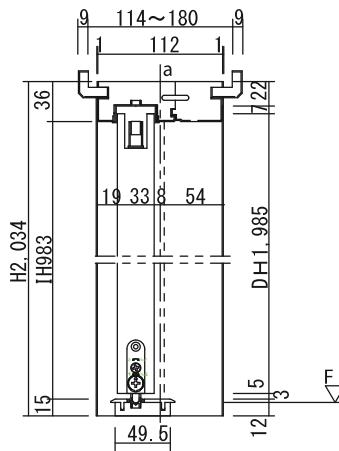
<右引きの場合>  
時計回りに回すとモヘアが出ます。  
反時計回りに回すとモヘアが引き込みます。  
(左引きの場合は、回す方向が逆になります。)

【固定枠】

寸法図



【ケーシング枠】



ブレーキ受けの取付け

取付け時以下の治具を使用して、図の様に取付けをして下さい。

標準仕様 戸先クローザー

戸尻ブレーキ

下記太線を切取って使用してください。

下図「弱」を片枠側に向けて  
取付けをして下さい。

